

神奈川県における死亡の状況について

神奈川県悪性新生物登録事業においては、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 33 条第 1 項の規定に基づく利用申請と厚生労働大臣の許可のもと、人口動態調査票情報（死亡小票）を収集し、死亡情報の登録を行っている。

地域：神奈川県全域

死亡小票において利用する調査項目：死亡日、死因、死亡したところの種別、死因の種類

	登録された総死亡件数 (届出+死亡票) A	直接死因が がん C	直接死因が がん以外 NC	2016年～2020年の5年間に収集した死亡小票に基づいて地域がん登録システムに登録された総死亡件数(届出+死亡票)※をAとし、Aのうち、直接死因にがんの記載がある死亡(C)、直接死因にがん以外の病名の記載がある死亡(NC)とを区分して集計した(単位:人)。
2016年	37,911	28,112	9,799	
2017年	39,825	29,176	10,649	
2018年	41,435	30,061	11,374	
2019年	42,691	30,409	12,282	
2020年	43,926	31,006	12,920	

※死亡票採録の全数は表 2 死亡票採録件数 (p16) を参照されたい。

本集計では、直接死因に ICD-10 の C00-C97 悪性新生物、D00-D09 上皮内がん、D32-D33 脳腫瘍(良性)、D42-D43 脳腫瘍(性状不詳)、D45-D47 血液のがん、D48 結合組織のがんの記載があった場合を「がんによる死亡」とし計上している。

地域がん登録の手引きに定める、死亡票のうちいずれかの項目(手術や備考欄を含む)に「がん」が含まれる「がん死」ではなく、直接死因ががんの場合のみを集計している点に注意されたい。

なお、2017 年死亡からは厚生統計(人口動態調査統計情報)の原死因コード(ICD-10 準拠)における死因情報を反映している。これによりコーディングの恣意性が改善された。

次の表では、各々の死亡場所(死亡したところの種別)について、地域がん登録システムに登録された総死亡件数(届出+死亡票)(A)に占める割合を示す。

死亡したところの種別：病院、診療所、介護老人保健施設、老人ホーム、自宅、その他

地域がん登録システムに登録された総死亡件数（届出+死亡票）に占める各死亡場所での死亡の割合

死亡したところの種別：病院、診療所、介護老人保健施設、老人ホーム、自宅、その他

	病院	診療所	老健	老人ホーム	自宅	その他
2016年	76.2	0.6	0.8	4.6	16.1	1.1
2017年	75.4	0.6	0.9	4.9	16.6	1.1
2018年	73.7	0.6	1.1	6.0	17.2	1.0
2019年	72.0	0.6	1.1	6.8	18.4	0.8
2020年	65.2	0.6	1.0	8.6	23.1	1.2

単位 (%)

地域がん登録システムに登録された総死亡件数（届出+死亡票）の推移と死亡場所の内訳

